

「洋上風況観測システム実証研究」の概要

1. 概要

日本沿岸の厳しい気象・海象条件に対して、安全で、かつ環境への影響の小さい洋上風力発電技術を確立するために、下記の観測や調査などを行う。

(1) 洋上風況と波浪の観測、特性把握

風況観測タワーや波高計などで洋上風況と波浪を観測し、その特性(風速・風向の出現特性、風速の鉛直分布、波浪の出現特性など)を把握する。

(2) 数値シミュレーション手法の検証と高度化

観測結果に基づき、風況と波浪を予測する数値シミュレーション手法を高度化し、台風時などの風況や、波浪の広域の予測手法を確立する。

(3) 環境影響調査

魚類や海産ほ乳類、鳥類などの生態系や、海流や砂の移動などの変化を調査する。

(4) 洋上風況観測システムの設計指針(案)の作成

洋上風況や波浪などの観測方法や、観測タワーの構造設計などに関する指針(案)を作成する。

2. 研究期間

平成21年8月(予定)から平成26年3月まで

3. 風況観測タワーの設置場所

千葉県銚子市の南沖合

4. 受託金額

約13.3億円(契約締結前のため概算額、消費税抜き)

5. 実施体制

東京電力・・・技術開発研究所 設備基盤技術グループ
建設部 新エネルギー設備技術グループ

東京大学・・・大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 橋梁研究室

以上